

トルコギキョウの9・10月出荷に適する品種とLED電照の効果

花き・園芸部

1. 背景・目的

トルコギキョウは花色・花形の違う品種がたくさんあることから、用途が広く、需要の高い切り花品目です。しかし、秋出荷栽培では生育中の高温・多日照により品質が低下（丈が短く花が少ない）し、収穫本数が減ります。そこで本研究では、これらの課題に対し栽培技術の検討を行いました。



2. 9・10月出荷の品種選びと植え付け時期

下表の5品種を時期をずらしながら植え付けると、敬老の日や秋彼岸、秋の結婚式シーズンにあたる9～10月に安定出荷できます。品種によっては、夜間に赤色LED電球を点灯することで、出荷期をさらに遅くしたり、切り花の品質向上を図ることができます。

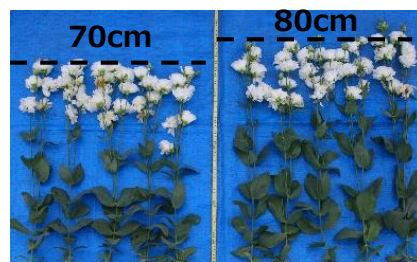
品種・花色・早晩性	6月			7月			8月			9月			10月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
ラビアーージュ (ピンク・中晩生)		●		●								■			
ファイナル ホワイト (白・晩生)		●		●								■			
プライムホワイト (白・中晩生)				●	●	●	●	●	●	●	●	■			
ファイナル ローズ (ピンク・晩生)				●	●	●	●	●	●	●	●	■			
パールラベンダー (紫・中晩生)				●	●	●	●	●	●	●	●	■			

●：定植 ●●●：赤色LED電照 ■：採花盛期
品種と定植時期・採花盛期(R2～6)

3. 赤色LED電球の利用

光の「色」が植物の生育にどのような影響を与えるかについては、古くから研究が行われています。

トルコギキョウを夏に栽培すると生育が早くなりがちで、十分に大きくなる前に花を咲かせてしまいます。赤色光はこれを防ぎ、収量・品質向上に有効です。



赤色LED電照による品質向上
左：電照なし、右：電照あり
電照により草丈が長くなる



試験風景
上：昼間、下：夜間